

NPO なすびの花



私たちと一緒に活動しませんか？

NPO 会員募集中!!

私たちの活動主旨に賛同いただき、一緒に活動頂ける会員を募集しています。下記の内容をご確認頂き、当法人までお問い合わせください。

正会員 一緒に活動頂ける方

入会金なし ◆個人 年会費 12,000 円
◆法人 年会費 24,000 円

賛助会員 継続的サポート(援助)頂ける方

入会金なし ◆個人 年会費 1口 5,000 円～
◆法人 年会費 1口 20,000 円～

※ご寄付 活動を援助頂ける方

よろしく願いいたします。

お振込先 さわやか信用金庫 品川支店
普通預金 1140212

【問合せ・連絡先】

特定非営利活動法人

東海道品川宿なすびの花

(通称：NPO なすびの花)

住所 〒140-0001

東京都品川区北品川 1-22-18-310

電話 090-8745-8810 (大塚)

090-1885-2176 (事務局)

ホームページ <https://www.nasubinohana.net>

メールアドレス spun8bb9@energy.ocn.ne.jp



【ご挨拶】

NPO なすびの花 の由来

初夢で見る縁起物の一富士（いちふじ）二鷹（にたか）三茄子（さんなすび）は、私が敬愛する徳川家康公が好んだものです。そして、家康公が関ヶ原の戦いの戦勝を祈願したのが品川神社。東海道品川宿の一角を見下ろす品川神社には富士塚があり、近接する御殿山では將軍家による鷹狩りが行われました。これ等と並ぶ“食”の筆頭としての茄子。なすびの花が咲くと必ず結実することから、「成す」ともかけられているのが江戸の粋ですね。当団体の名前もこれにちなんで“なすびの花”を咲かせ「みんなの夢が必ず実を結びますように」という願いを込めて付けられたものです。

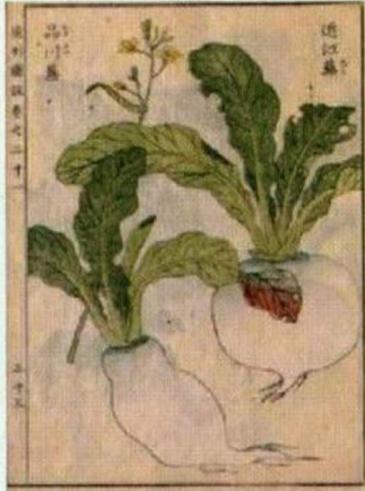
同じ野菜でも私たちが普及に努めているのが2004年に復活させた『品川蕪』。その品川蕪によるご縁が繋がって、2023年4月よりNPO法人として持続的に活動を続けていくことになりました。私たちの夢もどんどん膨らんでいます。今後とも皆様からのご愛顧とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。



特定非営利活動法人
東海道品川宿なすびの花

理事長 大塚好雄

私たちのビジョン



『成形図説』より

江戸東京野菜とは、種苗の大半が自家採種または近隣の種苗商により確保されていた江戸から昭和中期(40年代)までのいわゆる固定種の野菜、または在来の栽培法等に由来する野菜です。

江戸時代から人々の食生活を支えてきた江戸東京

野菜は、農地の減少のほか、収穫量が少なく栽培に手間がかかるということもあり、一時はその姿が食卓から消えつつありました。

「品川蕪」もその1つ。江戸時代に書かれた農書『成形図説』の中の品川蕪の絵を元に当法人の大塚が発見した「東京大長蕪」は、生産者や市場、江戸野菜の研究会から「品川蕪」として認められ今日に至りました。

また、品川区内には「居木橋南瓜」や「戸越筍」などの多くの江戸東京野菜が存在することから、これらを含め、後世に伝承する事が重要です。

我々は、江戸東京野菜の栽培による食育の啓発や文化の伝承・発信、地域交流による活性化等の活動を通じて、区内農地の確保など更なる都市型農業の可能性を探求し、未来に繋がる持続可能な社会の実現を目指します。

私たちの活動内容

品川蕪品評会の開催

毎年12月の第3週の日曜日に品川神社で開催される『品川蕪品評会』は、品川蕪の収穫を祝う、年に一度の祭典です。子どもたちに野菜を育てる楽しさと食べ物を大事にする心を育んでもらおうと2012年に初開催。2022年で第9回目の開催となりました。

小学生の部・一般の部での表彰の他、講談や太鼓の演奏、歌手による歌唱、品川蕪入りの「品川汁」の振る舞いなど、地域の交流にも大きく貢献しています。



品川蕪の栽培指導

品川区立の小・中・義務教育学校や区民農園、福祉施設等で品川蕪の種を配布し、栽培指導を行うことで普及や食育活動を行っています。

区民農園収穫祭

品川区民農園「マイガーデン」の収穫祭は毎年秋に開かれます。このイベントは、収穫の喜びを地域の皆で分かち合うこと、そして農園の利用者と近隣の方の交流を目的としています。品川汁の配布や収穫祭恒例の江戸東京野菜の頒布などを行っています。



これからの活動

江戸東京野菜の普及・啓発のため、様々な団体等との交流や研究活動を行います。●品川蕪の栽培方法や料理 ●講演やイベント等々ご興味のある方は”NPO なすびの花”の問合せ先までご連絡ください!!

